県空調衛生工事業協会総会

新会長に青木氏選出

青木英一郎新会長

県空調衛生工事業協会（稲留澄男会長）は3日、鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で19年度第4回通常総会を開き、技術・技能、経営基盤の向上のため関連団体などと連携した講習会の開催などを柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では、新会長に青木英一郎氏（アイテック㈱）を選出した。なお、副会長については後日、理事会で選任する。

第4回 通常総会
鹿児島県空調衛生工事

技術・技能、経営基盤の向上のための講習会開催などを決めた総会＝鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で

総会の冒頭、稲留会長が「関連団体等と連携を深め、業界・会員企業の景気回復・経営基盤の安定化に向け、皆さんとともに一致団結して努力していきたい」などと挨拶した。

引き続き、和田正憲副会長（アイワ工業㈱）を議長に、18年度事業・会計決算、19年度事業計画・予算案等を審議した結果、すべて執行部原案通り可決承認した。

新年度事業計画の重点事項は、①経営・技術業務の各分野に関し、業界としての課題を的確に把握し会員への普及を積極的に行う②会員企業の「技術・技能力」また「経営基盤」の向上のため講習会等を開催③業界の地位向上ならびに設備技術者の技術向上を図るとともに、会員の向上に努める④会員増強運動の展開－などを掲げている。

新役員は次の通り。

会長＝青木英一郎▽理事＝山之内成博（錦江設備工業㈱）藤山博文（興南施設㈱）小村貢（三元設備工業㈱）福山康洋（中央工業㈱）中津野忠文（テクノ冷熱㈱）鎌田満憲（㈱南開設備）下田平洋一（富士設備工業㈱）藤井義明（友和設備工業㈱）羽月忠（㈱九水）中釜秀一（㈱中釜電設）池之上紘一（丸善設備工業㈱）垣内明郎（日光設備㈱）末吉博文（㈲出水合同電設）重久貢一（㈱三栄）田平信広（豊和水道工業㈱）永田豊人（共栄開発工業㈱）▽監事＝隈元光宏（十文字工業㈱）田崎実（隼人設備工業㈱）

県建設業協会出水支部・出水管協組

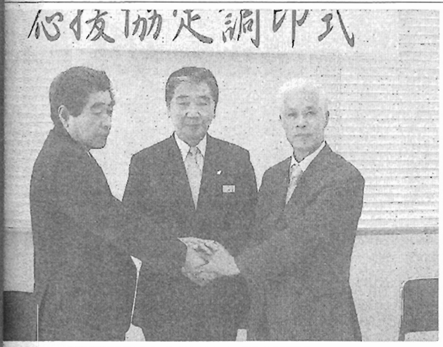
出水市と災害復旧協定締結

連携し迅速に対応

水管工事協同組合と大規模災害時の応急対策応援協定を締結。渋谷俊彦市長と桑木康行出水支部長、竹田行成理事長がそれぞれ協定書に調印した。

同市災害対策本部設置には、出水支部（73社）は公共土木施設に係る障害物の除去や復旧等に、また管工事協組（24社）は水道施設損傷等の復旧に迅速に対応するなどを明文化した。

渋谷市長は「かねての懸案だった協定書の調印ができうれしく思います。皆様には昨年の豪雨災害時、復旧・復興にいち早く対応しご尽力をいただ



調印後、渋谷市長と握手する桑木支部長（左）、竹田理事長＝市役所大会議室で

平素から取り組む思いを強くしたところ。台風シーズンに備え、協定が機能していくようご理解とご協力をお願いしたい」と挨拶。

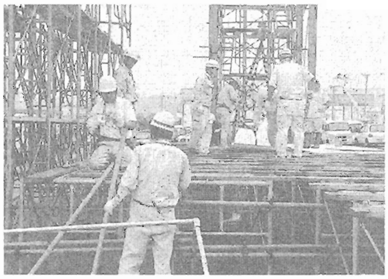
桑木支部長は「私どもは既に県と同様の締結をしており、昨年7月の豪雨災害時には精一杯の努力をしたところ。今回の締結を機に双方密に連絡し合い、連携をよくし、一丸となって取り組んでいきたい」と決意を述べた。

竹田理事長は「組合員24社は毎週24時間、2人体制で1年365日水道の安定供給確保に努めているところ。旧野田・旧高尾野町の会員も加わり、各地域順調に活動を続けている。想定される災害をシミュレーションし、お互い協力しながら取り組んでいきたい」と抱負

枕崎建設業組合青建会がボランテイア

ステージ設営など　会場造りに汗

枕崎建設業組合青建会（森秀俊会長）は3日、枕崎市の夏の大イベントである港祭り「枕崎・2007さつま黒潮きばらん海」のメーンステージ等の設営作業をボランティアで実施。蒸せ返るような暑さの中、会員らは祭りの準備作業に汗を流した。


メーンステージの設営に励む会員＝枕崎市の現地で

午前8時、参加者を前に森会長が「手馴れた作業ではあるが、決して気を抜かず、普段の仕事と同様に迅速かつ適確な作業に努めてほしい」と挨拶。その後、会員らはそれぞれの持ち場について作業に取り掛かった。

作業は、地場産業センター前屋外広場のメーンステージをはじめ、サードステージや各ブースのテント設営などを中心に行われ、小雨が降る蒸し暑い悪天候の中、高所クレーン車や重機などを駆使して手際よく足場を組み立てながら、汗まみれで会場の設営を進める会員の姿が見られた。作業は終日かけて行われ、夕方までにはほとんど設営が完了した。

祭りは、きょう4日から5日までの2日間開催され、最終日の5日には約6000発の花火が枕崎の夜空を彩り、祭りのクライマックスを演出する。

参加会員は次の通り。

長野建設㈱　㈱今給黎建設　㈱板敷組　森建設㈱　㈱上木原建設　㈱中間建設　㈱有園建設　㈱豊留建設　茅野産業㈱　㈱井上工業　㈲よつもと工務店　㈲下木原建設　㈲福元建設　㈲香建設　㈲佳敷土建　㈲毘島組　㈲真茅工業　㈲ダイコー建設　㈲鮫島興業　㈲明興建設

地域が元気にと―

白衣観音像を仮建立

石内義夫公園

薩摩川内市樋脇町市比野にある石内義夫公園に御影石の白衣観音像（20尺）が仮設置された。像高は約6・6m。蓮華台や基礎を含めると高さは10mを超える。20tの石から彫り出し、像重量は約14t。九州一の石像になる＝写真＝。

7月25日、2台のクレ

クから地上に降ろした。見守っていた地域住民や石内氏を慕う230人が拍手や万歳で迎え、観音像の顔や手、足をさすり拝んだ。中には感激で涙する人も。立像になるともう顔にふれることはできない。その場に居合わせた人だけの最初で最後の幸運だった。

石内氏は言う。「母を思う気持ちで64年間やってきました。白衣観音像は母の姿。観音さまから力をいただき、世のすべての人が幸せになるようもっと頑張っていきたい」と。

「私は宗教とは無関係。人が憩い、喜び、集う『集教』ならば命がけで伝えたい」。同氏から元気をもらおうと市内外から通う経済人も多い。像建立のおかげで地域もま

奄美市水道事業協組も協力

市内美化に一役

奄美市は「道路ふれあい月間」の一環として2日、土木課職員が総出で市内の植栽剪定やごみ拾い等のボランティア清掃を実施した。奄美市水道事業協同組合もトラック提供や同作業に参加するなどの協力を行った。

剪定作業に取り組む参加者＝奄美市内で

一行は名瀬信愛幼稚園前から保健所通り、屋仁川通りにかけて、植栽剪定やごみ拾いを実施、奄美祭りを前に市内美化活動に一役買った。奄美市水道事業協同組合（有村文熈代表理事）から今年はエイシン設備と大野設備から2人が参加、トラックをそれぞれ1台ずつ提供してごみ運搬を行ったほか、ごみ拾いや草刈りにも協力した。

奄美市は10日に警察や消防、大島支庁と合同で「道の日」街頭キャンペーンとして、道路の正しい利用の啓発をするほか、11日には県の清掃作業にも参加する。

また22日には、道路・歩道・側溝上が不正に使用されていないかなどパトロールを実施する予定。